

# 平成28年の大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き

大阪府総務部統計課 勤労・教育グループ

《 詳細は大阪府ホームページに掲載しています。[http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/maikin\\_n/index.html](http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/maikin_n/index.html) 》

平成29年3月に、平成28年の「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」（速報）を公表しましたので、その概要を紹介します。

## 1 主な動き（平成28年平均、調査産業計・事業所規模5人以上）

### (1) 賃金の動き

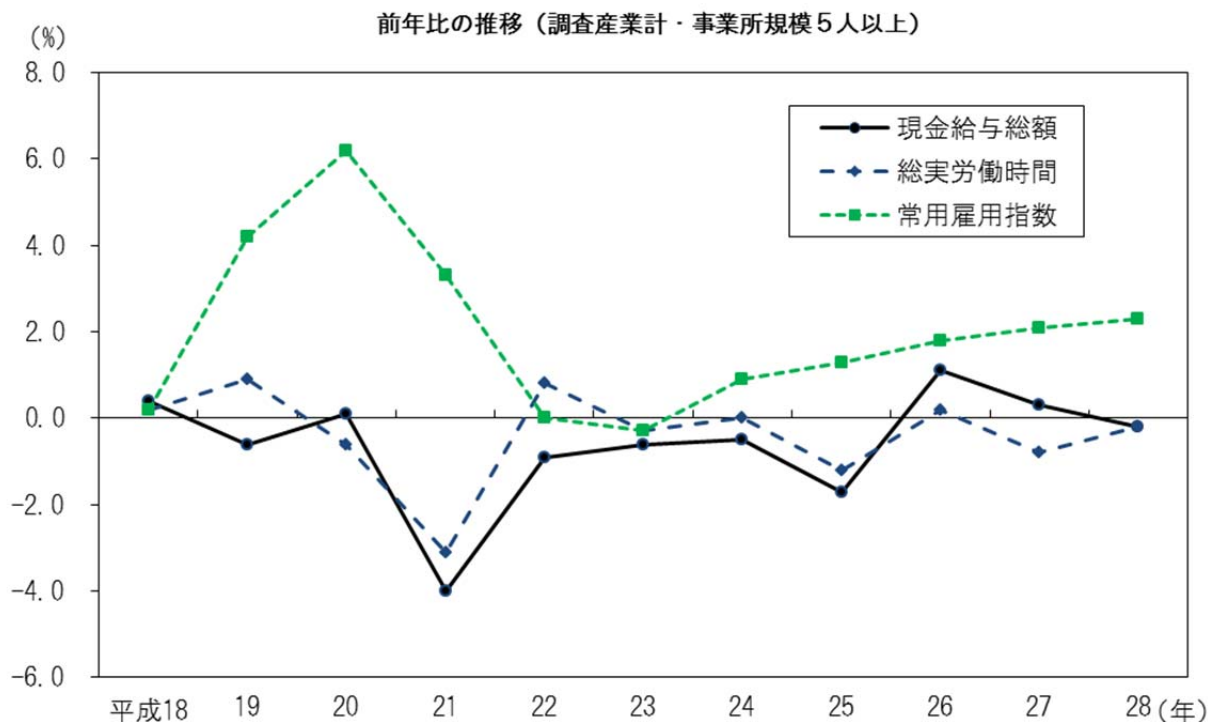
現金給与総額は、334,322円。名目賃金指数は98.4で前年比は、0.2%の減少となり、平成25年以来、3年ぶりに減少しました。

### (2) 労働時間の動き

総実労働時間は、142.8時間。労働時間指数は97.7で前年比は、0.2%の減少となり、平成27年以降、2年連続で減少が続いています。

### (3) 雇用の動き

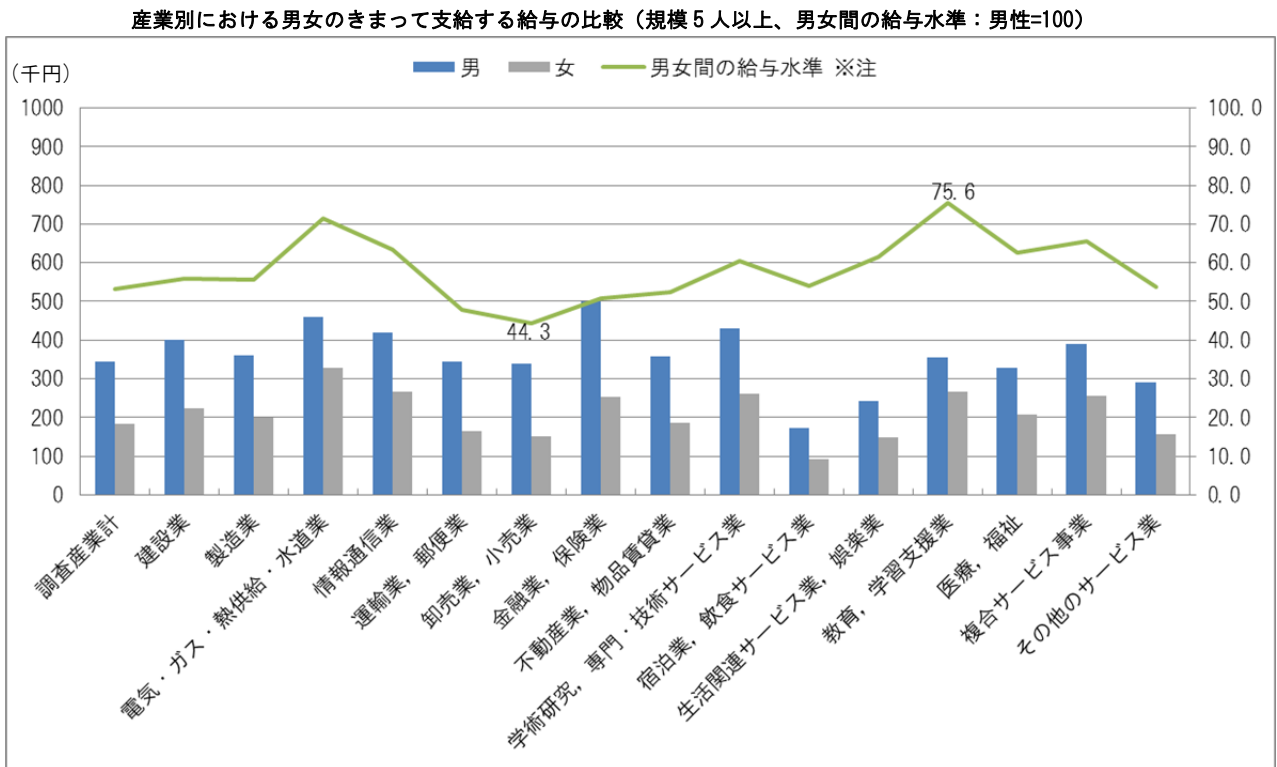
常用雇用指数は、108.3で前年比は、2.3%の増加となり、平成24年以降、5年連続で増加が続いています。



## 2 男女間賃金の比較（平成 28 年平均、調査産業計・事業所規模 5 人以上）

平成 28 年の男性のきまって支給する給与水準を 100.0 としたときに、女性のきまって支給する給与水準は、大阪府では「卸売業，小売業」が 44.3（約 4.4 割）となり格差が最も大きく、「教育，学習支援業」が 75.6（約 7.6 割）となり格差が最も小さい。

また、全国平均においても、「卸売業，小売業」が 47.1（約 4.7 割）となり格差が最も大きく、「教育，学習支援業」が 71.1（約 7.1 割）となり格差が最も小さい。



【注】水準は男性を 100 とした場合の女性の値

## 3 就業形態別賃金、労働時間及び雇用（平成 28 年平均、調査産業計・事業所規模 5 人以上）

賃金、労働時間及び雇用を就業形態別（一般労働者とパートタイム労働者）にみると、現金給与総額は、一般労働者が 443,164 円、パートタイム労働者が 97,629 円となった。

一方、総実労働時間は、一般労働者が 168.1 時間、パートタイム労働者が 84.9 時間となった。

また、常用労働者数は、一般労働者が 2,629,955 人、パートタイム労働者が 1,210,320 人となった。

